

「伝えたい千葉の産業技術100選」について

選定の趣旨

現状

本県の産業を発展させた歴史的産業技術は数多くあるが、これらの技術は時代とともに**記憶から薄れ**、地域とのかかわりについても次世代に引き継ぐための**資料が不足**している。

目的

県内各地域で産業技術の歴史的経緯・役割がわかる**資料集を作成**し、県内の科学技術に関する**興味・関心**、地域の産業に関する**理解**に結び付ける。

小学校「地域の学習」 中学校「キャリア教育」 総合的な学習（探究）の時間による。

展示・運営協力会の「協力・連携」

本館活動の充実・発展のために、館の趣旨に賛同する**専門的知識**を有する団体及び個人が、館の活動に対し支援及び助言を目的とした組織で、開館時に設立された。

現在 95会員 展示・運営協力会理事会に意見を聴取している。（選定委員会）

<選定調査対象>

経済産業省「近代化産業遺産」、国立科学博物館産業技術史資料情報センター「産業技術史資料」、現代産業科学館「千葉県工業歴史資料調査報告書」（第1号～14号）、千葉県教育委員会「千葉県の産業・交通遺跡」、千葉県商工労働部産業振興課「千葉ものづくり認定製品」等、千葉県を中心に選定。展示・運営協力会理事会で推薦のあったものについても対象としている。

また、選定の地域を各教育事務所管内を基準とし、地域間のバランスを考慮して選定を行っている。

伝えたい千葉の産業技術100選

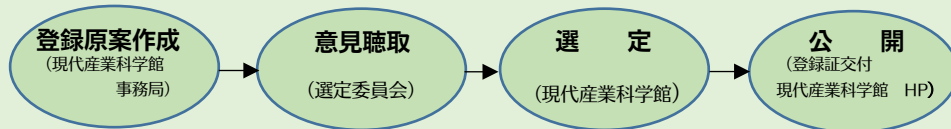
選定基準

- ① 本県及び県内各地域の発展に**歴史的な役割**を果たしたもの
- ② 産業あるいは技術の**発展に著しく貢献**したもの
- ③ 小学校では「**地域の学習**」、中学校、高等学校では「**キャリア教育**」と結びついた内容となりうるもの



千葉高架水槽
平成28年度 選定

選定までの流れ



選定状況

平成27年度	6件	平成28年度	8件	平成29年度	10件
平成30年度	8件	令和元年度	10件	令和2年度	14件
令和3年度	16件	令和4年度	4件	令和5年度	6件
令和6年度	7件				

計89件選定

活用

- ・選定された歴史的産業技術については**台帳に登録**するとともに、本館から登録証を交付。
- ・登録資料について**本館ホームページで公開**するとともに、概要を館内展示。

今後の展開

- ・資料としてまとめ、教育事務所などに配付し、**学校との連携を深化**させる。